

④ 平成 26 年度「自立と体験 4」実施報告

学長 大橋 有弘 殿

平成 26 年度「自立と体験 4」実施報告書

「自立と体験 4」担当副学長 高 島 秀 樹
 明星教育センター長 原 田 久 志

1. 概要

「自立と体験 4」は今年で 3 年目を迎え、授業を無事終了した。平成 26 年度は、外部のキャリア教育専門業者に頼らず、学内で授業設計から運営まで内製化を図り進めたことで、「自立と体験 3」との接続やキャリアセンターとの連携など、より明星大学に合った授業内容、運営を展開することが可能となった。しかし一方で今年度は、履修学生が前年度と比べ大きく減少するなど課題も浮き彫りとなった。

以下、平成 26 年度「自立と体験 4」の実施について報告を行う。

2. 学科対応

平成 26 年度は、履修者増加と学科教員への周知を目的に学科対応を強化した。昨年度は、一部の学科のみが対象だったのに対し、今年度は、全学科に協力いただき新年度履修ガイダンスで明星教育センターの教員・職員が授業の説明を行い、チラシを 4000 枚配布した。ただし、経済学科の 3 年生はガイダンスではなく、授業に出向いて説明した。上記のように、対応を強化したが、履修者の増加には繋がらなかった。詳細については後述する。

3. 実施内容

1) シラバス

「自立と体験 4」のシラバスは、下記の通りである。

【表 1】平成 26 年度「自立と体験 4」シラバス

回	授業名	内容
1	オリエンテーション	授業全体の概要・取り組み方
2	社会への関心 1	社会に関心を持つ
3	組織における仕事	仕事におけるチームワークを理解する
4	自己理解 1	自分の価値観や行動の元を知る
5	仕事理解 1	社会人から学ぶ
6	ジョブインタビュー 1	インタビューの方法を理解する
7	仕事理解 2	企業の中での仕事の流れを理解する
8	仕事理解 3	社会で求められる人材を理解する
9	ジョブインタビュー 2	プレゼンテーションを考える

10	ジョブインタビュー 3	社会人のやりがいを探る
11	社会への関心 2	社会を構成する業界・職種を知る
12	社会への関心 3	社会人の考え方を知る
13	自己理解 2	自分の持ち味を考える
14	自己表現	行動計画をたてる
15	総まとめ	「働く」について考える

2) 教材・教案

教材は、受講ルールや授業の内容、目標設定シートが綴られたワークブックと授業回毎に必要なワークシートを配布。今回、教材・教案ともに明星教育センターの教員で話し合い、従来のものに更に改善、改良を重ねて作製した。

3) 授業の改善点

「自立と体験 4」の授業が 3 年目を迎え、内製化して初めての授業であったが、大きく改善した点が 3 点ある。

①ジョブインタビューの導入

今回、新たに授業の柱として、「ジョブインタビュー」を導入した。学生が社会人にインタビューを行うにあたって、働くことへの意識の醸成だけでなく、学生の自発性や計画性、実行力などが求められる仕立てとなっている。アンケート評価で最も印象的な授業でこの回が一番印象深かったと 25%の学生が回答するなど、学生評価も高い。

②キャリアセンターとの連携

授業終了後、スムーズにキャリアセンターへの接続を図るため明星教育センターとキャリアセンター、双方向の連携を強化した。具体的には、a.キャリアセンター職員の講義 b.キャリアサポートブックの一部を授業資料として活用 c.インターンシップやガイダンス等の告知を行い、実践に即した要素を取り入れている。

③「自立と体験 3」との繋がり

「自立と体験 3」の授業で学んだ内容を一部「自立と体験 4」に取り入れることで、学生が、論理的思考やプレゼンテーションスキルなど継続的な学びを積み重ねていくことが可能となった。

4) クラス編成

3 年生前期科目として、経済学科クラス、造形学科クラス、混合クラスに分かれて、計 10 クラスを開講した。昨年度同様に経済学科、造形芸術学科の 2 学科が学科科目に読み替えの措置をとった。内訳は表 2 の通りである。

【表2】履修学生数・開講曜日時限

学科	人数	()はクラス数 開講曜日・時限
経済学科クラス	35	木曜 3限(3)
造形芸術学科クラス	43	木曜 3限(1)、5限(1)
混合クラス (理工学科、人文学科、情報学科、教育学科、経営学科)	41	月曜 5限(1)・火曜 3限(1) 水曜 5限(1)・金曜 3限(1)・5限(1)
全体	119名	10クラス

5) 担当教員

担当教員は、明星教育センター特任・常勤教員4名、兼任講師1名、委託業者派遣講師3名の計8名、10クラスを担当した。また、教員間で授業実施内容の共有と振り返りを行うため、週1回レクチャーミーティングを実施した。

4. 実施結果

1) 履修者数

今年度の履修者数は、119名で昨年度の203名から減少した。内訳は、経済学科35名(昨年度84名)、造形芸術学科43名(昨年度59名)、その他の学科41名(昨年度60名)である。経済学科の履修者の減少については、一部履修時の手続きに不備があったことも影響したと考えられる。

2) 出席率¹

出席率の平均は82.5%(昨年度78.0%)で、昨年度よりも4.5ポイント上がった。最も高かったのは、第1回目と2回目の88.7%、最も低かったのは第12回の75.7%であった。

【表3】平成26年度「自立と体験4」出席率

授業回数	出席率(全体)	平成25年度 出席率(全体)	授業回数	出席率(全体)	平成25年度 出席率(全体)	授業回数	出席率(全体)	平成25年度 出席率(全体)
第1回	88.7	88.5	第6回	83.2	79.5	第11回	81.2	74.0
第2回	88.7	85.0	第7回	77.7	75.0	第12回	75.7	77.5
第3回	88.1	82.0	第8回	82.3	78.5	第13回	79.2	76.5
第4回	80.7	79.0	第9回	82.3	74.0	第14回	80.0	79.2
第5回	86.0	65.5	第10回	83.0	75.0	第15回	80.2	83.5
			出席率平均	82.5%	78.0%			

3) 単位修得率¹

平成26年度の単位取得率は、86.6%(103名)で、昨年度より0.9ポイント下がった。

【表4】「自立と体験4」単位修得率

開講年度	平成25年度	平成26年度
単位修得率	87.5%	86.6%

¹ 履修登録者119名のうち、授業に1度も出席していない学生が5名いた。出席率と単位修得率は履修者119名からその5名をのぞいた114名で計算している。

5. アンケートからの考察

昨年同様全体的に評価が高く、1項目を除きすべての項目の評価が上がった。(学生の答えやすさを配慮して設問を変更した2項目は比較していない)。このことから、受講した学生は授業内容を評価しており、また授業改善の結果が出ていると考えられる。以下、項目毎に記述する。

1) 授業評価

授業へ参加して良かったと肯定的に回答した学生が97%と授業内容を高く評価している。中でも学生の授業への取り組み(積極性)については、77%が積極的に取り組めたと回答し、昨年と比べて13ポイント高かった。これは、ジョブインタビューの実習を通して自ら行動し実践した経験が、学生の積極的な取り組み姿勢に繋がったと考えられる。

また、混合クラスのアンケートの記述からは、「多様な人とのグループワークを通して学ぶことが多い」「いつもひとつの方向に偏って勉強していたので様々な視点や考え方が得られて良かった」との記述もあり、学部学科混合の多様なメンバーとの学習により視野が広がっている様子が分かる。

就職に対する意識は、93%の学生が高まったと回答した。クラス毎の内訳をみると造形芸術学科クラスは93%と平均値であったが、経済学科クラスが97%、混合クラスは、87%と意識の差が見られた。

この項目では「この授業に出席して就職に対する意識は高まったか」と尋ねていることから、もともと意識が高かった学生は肯定的な回答をしない可能性もある。授業内での学生の様子を見ていると、混合クラスは、卒業要件単位として認められないにも関わらず履修登録していることもあり、受講する前から多少なりとも就職に対して高い意識を持って臨んだことが推測される。

<ul style="list-style-type: none"> • あなたはこの授業に出席して、どのように思いましたか? 良かった(67%)、やや良かった(30%)、あまり良くなかった(2%)、良くなかった(1%) • あなたは授業にどのように取り組みましたか? 非常に積極的に取り組めた(17%)、積極的に取り組めた(60%)、まあまあ取り組めた(19%)、あまり積極的に取り組めなかった(4%) • この授業に出席して就職に対する意識は高まりましたか? 多いに高まった(33%)、高まった(60%)、あまり高まらなかった(6%)、全く高まらなかった(1%) • この授業を後輩にも推薦しますか? 大いに勧めたい(31%)、勧めたい(62%)、あまり勧めたくない(6%)、勧めたくない(1%)
--

2) キャリア意識、仕事・職業意識

生き方を考えるきっかけになったと肯定的に回答した学生が、91%であった。また、仕事理解についても81%以上の学生が、理解が深まったと回答し、全体的にキャリア意識や職業意識が高まっていることがわかる。アンケートの自由記述欄からも、

「企業に関心が持てた」「ジョブインタビューを通して仕事というものを実感できた」「就職や仕事についてプラスのイメージを持てた」などの記述がみられ、仕事や職業への積極的な関心が見られた。

- ・授業を通して自分の生き方を考えるきっかけができた。
とてもそう思う (28%)、そう思う (63%)、あまりそう思わない (9%)、全くそう思わない(0%)
- ・様々な仕事について理解が深まった。
とてもそう思う (31%)、そう思う (60%)、あまりそう思わない (8%)、全くそう思わない(1%)
- ・自分にあった職業を探したいと思うようになった。
とてもそう思う (52%)、そう思う (42%)、あまりそう思わない (6%)、全くそう思わない(0%)

3) 自立意識、自己理解

自分で考え行動し、判断することの大切さについて、肯定的に答えた学生が 94%であった。自分自身についての新たな発見があったと答えた学生は 88%と昨年度と比べて 9ポイント上がった。

アンケートの自由記述欄には、「自分の持ち味を知ることができた」「やりたいことを掘り下げて仕事に結び付けることができた」「持っている個性について新たな発見があった」などの記述があった。以上のことから自己理解が深まっている様子が見られる。

- ・自分で考えて行動し、判断することの大切さが理解できた。
とてもそう思う (47%)、そう思う (47%)、あまりそう思わない (6%)、全くそう思わない (0%)
- ・自分自身について新たな発見があった。
とてもそう思う (36%)、そう思う (52%)、あまりそう思わない (11%)、全くそう思わない(1%)

4) その他

スキルの習得に関する質問では、情報収集 74%、文章力は 68%の学生が、スキルが身に付いたと回答している。

卒業後の進路は、まだはっきりとしたイメージが湧かないと回答した学生が多かった。しかし、授業を終えて「インターンシップへ参加したい」とした学生が 67%、また、「夏休みに就職活動のために何か計画がある、考え中」と回答した学生 75%であったことから、授業終了後に就職活動に向けて何か一歩踏み出してみようとする意識が感じられる。

- ・情報の収集の仕方が身に付いた。
とてもそう思う (19%)、そう思う (55%)、あまりそう思わない (24%)、全くそう思わない (2%)
- ・文章力が身に付いた。
とてもそう思う (13%)、そう思う (55%)、あまりそう思わない (30%)、全くそう思わない(2%)
- ・卒業後の進路について教えてください。
具体的にイメージできている (34%)、またイメージできていない(66%)
- ・この夏休みにインターンシップは参加する予定ですか。
必ず参加しようと思う(44%)、できれば参加したいと思う(23%)、する予定はない(33%)
- ・この夏休みインターンシップ以外で就職活動のために計画していることはありますか。
ある(23%)、考え中(52%)、ない(25%)

6. 次年度への課題

1) 履修者増加のためのPR方法の再検討

今年度は、履修者増加のために、ガイダンスでの説明、チラシの配布、学科教員への周知を行ったが、履修者増加には繋がらなかった。学生のアンケートでは、授業を知ったきっかけとして「チラシを見て」「ガイダンスに参加して」「先生や先輩から勧められて」と答えた学生を合計しても 16%に過ぎず、今年度実施した方法が効果的に機能したとは言えないようである。

次年度に向けては、ガイダンス・チラシの効果を高めるための取り組みを行うとともに、新しいPR方法を検討していく必要がある。例えば、キャリアセンターとの連携を今後さらに工夫していきたい。

2) 履修者の学習準備度の差への対応

「自立と体験 4」は、就職力を身に付けるために意識とスキルを学ぶ授業である。しかし、履修者の中には、「自立と体験 4」を学ぶための基礎的な力（話し合う力、考える力、表現する力）が不足しているために意識醸成、スキル獲得に達しないケースもあった。

個々の学生は半期の授業の中で、それぞれ成長してはいるが、自律的な就職活動に踏み出すレベルに到達させるためには何ができるのかを検討していく必要がある。

報告書制作：明星教育センター

南 愛、榎本達彦、太田昌宏

鈴木浩子、高橋南海子、平塚大輔、百木英明

以上

参考資料

「自立と体験4」アンケート

2014「自立と体験4」アンケート

2014「自立と体験4」アンケート

学部・学科(学系) 学籍番号 氏名

このアンケートは、来年度以降の「自立と体験4」をより良い授業にするための参考にします。
みなさんの成績とは一切関係ありませんので、素直な意見をお聞かせください。

■「自立と体験4」について

◇下記1～4の質問に対して、それぞれ自分の考えに近いと思う番号を1つ選んで○をつけ、その理由も記入してください。

1	あなたはこの授業に出席して、どのように思いましたか？ 1：良かった 2：やや良かった 3：あまり良くなかった 4：良くなかった 【理由】	1 . 2 . 3 . 4
2	あなたはこの授業にどのように取り組みましたか？ 1：非常に積極的に取り組めた 2：積極的に取り組めた 3：まあまあ取り組めた 4：(出席したが)あまり積極的に取り組めなかった 【理由】	1 . 2 . 3 . 4
3	この授業に出席して就職に対する意識は高まりましたか？ 1：大いに高まった 2：高まった 3：あまり高まらなかった 4：全く高まらなかった 【理由】	1 . 2 . 3 . 4
4	この授業を後輩にも推薦しますか？ 1：大いに勧めたい 2：勧めたい 3：あまり勧めたくない 4：勧めたくない 【理由】	1 . 2 . 3 . 4

■到達目標について

◇下記5～7の質問に対して、それぞれ自分の考えに近いと思う番号を1つ選んで○をつけてください。
1：とてもそう思う 2：そう思う 3：あまりそう思わない 4：全くそう思わない

5	授業を通して自分の生き方を考えるきっかけになった。	1 . 2 . 3 . 4
6	自分が社会に出て働き、貢献するイメージが持てた。	1 . 2 . 3 . 4
7	社会にでて働くことの中に、楽しさを見つけることができた。	1 . 2 . 3 . 4

■獲得する意識や能力について

◇下記8～14の質問に対して、それぞれ自分の考えに近いと思う番号を1つ選んで○をつけてください。
1：とてもそう思う 2：そう思う 3：あまりそう思わない 4：全くそう思わない

8	様々な仕事について理解が深まった。	1 . 2 . 3 . 4
9	自分にあった職業を探したいと思うようになった。	1 . 2 . 3 . 4
10	自分で考えて行動し、判断することの大切さが理解できた。	1 . 2 . 3 . 4
11	自分にとってのやりがいや働く意義がはっきりしてきた。	1 . 2 . 3 . 4
12	自分自身について新たな発見があった。	1 . 2 . 3 . 4
13	情報収集の仕方が身についた。	1 . 2 . 3 . 4
14	文章表現力が身についた。	1 . 2 . 3 . 4

裏面に続く

■現時点の進路について

◇下記15～19の質問に対して、それぞれ自分の考えに近いと思う番号を選んで○をつけてください。(18は複数選択可)

15	卒業後の進路について教えてください。 1：具体的にイメージできている 2：まだイメージできていない	1 . 2
16	15で1を選択した人は、4年卒業後の進路希望についてお答えください。 1：就職を希望する(自営も含む) 2：公務員試験を受ける 3：教員試験を受ける 4：進学する(大学院・専門学校・留学) 5：その他	1 . 2 . 3 . 4 . 5
17	この夏休み、インターンシップは参加する予定ですか？ 1：必ず参加しようと思う 2：できれば参加したいと思う 3：する予定はない	1 . 2 . 3
18	この夏休み、インターンシップ(仕事研究のためのアルバイト含む)以外で就職活動のために計画していることはありますか？ 1：ある 2：考え中 3：ない	1 . 2 . 3
19	18で1もしくは2を選択した人は、その理由を教えてください。(複数選択可) 1：OB・OG訪問 2：進路について親、家族と話をする 3：短期留学・語学研修 4：資格取得のための勉強 5：専門学校 6：仕事研究 7：筆記試験、またはSPI等の適正検査のための勉強 8：その他(以下に具体的にお書きください) ()	1 . 2 . 3 . 4 5 . 6 . 7 . 8

■最後に……

20	「自立と体験4」の授業を受講しようと思ったきっかけや理由を教えてください(複数選択可) 1：自立と体験3を受講したので 2：内容が良いと思ったから 3：チラシを見て 4：自分の学部学科の先生・先輩から薦められて 5：ガイダンスに参加して 6：その他(以下に具体的にお書きください) ()	1 . 2 . 3 4 . 5 . 6
21	「自立と体験4」の授業の中で最も印象的だったことを挙げてください。	
22	「自立と体験4」の授業について改善点や要望(こんな内容を取り入れて欲しい等)があれば教えてください。	

ご記入ありがとうございました。